

- 1 魚類などが水中から気体を効率よく取り込むために必要な物質は何か？
 ① 水素 ② 窒素 ③ 酸素 ④ 二酸化炭素
 ☐ ☐
- 2 顕微鏡で観察する試料をのせるために用いられる、薄く平らな透明なガラス板を何という？
 ① カバーガラス ② スライドガラス ③ ピペット ④ ろ紙
 ☐ ☐
- 3 顕微鏡の構成要素のうち、観察者の目に近い位置にあるレンズを何という？
 ① レボルバー ② 接眼レンズ ③ 鏡筒 ④ 対物レンズ
 ☐ ☐
- 4 アサリやカキのように、内臓が外とう膜に包まれ、二つの殻を持つ軟体動物のグループを何という？
 ① 巻貝 ② 二枚貝 ③ 腹足類 ④ 頭足類
 ☐ ☐
- 5 花の最も外側にあって、つぼみのときに花の内側を守っている、緑色の部分を何という？
 ① めしべ ② 花弁 ③ おしべ ④ がく
 ☐ ☐
- 6 被子植物において、おしべでつくられた花粉がめしべの先につくことを何という？
 ① 蒸散 ② 受粉 ③ 発芽 ④ 光合成
 ☐ ☐
- 7 親の体内で子がある程度育ってから生まれる生殖のしかたを何という？
 ① 胎生 ② 分裂 ③ 無性生殖 ④ 卵生
 ☐ ☐
- 8 肺でのガス交換において、血液中から肺胞へと移動し、最終的に呼気として体外へ追い出される気体は何か？
 ① 水蒸気 ② 酸素 ③ 窒素 ④ 二酸化炭素
 ☐ ☐
- 9 軟体動物が持たない、節足動物の体の表面を覆う硬い構造を何という？
 ① キチン質 ② 関節 ③ 内骨格 ④ 外骨格
 ☐ ☐
- 10 葉脈が網目状に広がっていることが特徴である、被子植物の分類の一つを何という？
 ① 裸子植物 ② 双子葉類 ③ 藻類 ④ 単子葉類
 ☐ ☐
- 11 背骨を持たない動物のグループの総称は何？
 ① 魚類 ② 爬虫類 ③ 無脊椎動物 ④ 両生類
 ☐ ☐
- 12 脊椎動物のうち、胎生という特徴を持ち、子供を乳で育てるグループを何という？
 ① 両生類 ② 爬虫類 ③ 哺乳類 ④ 鳥類
 ☐ ☐
- 13 肺呼吸のほかに、皮膚を通した呼吸を併用して酸素を取り込む生物のグループを何という？
 ① 両生類 ② 鳥類 ③ 哺乳類 ④ 爬虫類
 ☐ ☐
- 14 周囲の気温や水温の変化に合わせて体温が変化してしまう動物の分類を何という？
 ① 哺乳類 ② 鳥類 ③ 恒温動物 ④ 変温動物
 ☐ ☐
- 15 コケ植物が体を地面や岩に固定するために持つ、根のような働きをするつくりを何という？
 ① 葉 ② 茎 ③ 仮根 ④ 根
 ☐ ☐
- 16 アサガオやタンポポのような双子葉植物に見られる、中心となる最も太い根のことを何という？
 ① 側根 ② ひげ根 ③ 根毛 ④ 主根
 ☐ ☐



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	酸素 は生物の呼吸において必須の元素です。		3 酸素	☐
2	顕微鏡観察の準備で必須となるのがプレパラートです。これは、観察する試料を載せる長方形の「 スライドガラス 」と、その上から被せる「カバーガラス」の2枚のガラス板で構成されます。		2 スライドガラス	☐
3	接眼レンズ は、顕微鏡の鏡筒の最上部にあるレンズです。		2 接眼レンズ	☐
4	外套膜（がいとうまく）から分泌される成分で二つの殻を作り、その中に柔らかい体を収めています。		2 二枚貝	☐
5			4 がく	☐
6	植物の生殖において、おしべから出た花粉が同じ種類または同じ個体のめしべの先端（柱頭）に付着する現象を「 受粉 」といいます。		2 受粉	☐
7	胎生 では、親の体内から栄養を供給しながら子を育てます。		1 胎生	☐
8	二酸化炭素 は、私たちが酸素を消費してエネルギーを作った際に生じる不要な気体です。		4 二酸化炭素	☐
9	節足動物は、筋肉が内側についている硬い殻である 外骨格 によって体を支えています。		4 外骨格	☐
10	双子葉類 は、葉脈が網目状に広がっている網状脈を持つのが特徴です。		2 双子葉類	☐
11	無脊椎動物 は、背骨がない動物の分類です。		3 無脊椎動物	☐
12	哺乳類 は、体毛を持ち、体温を一定に保つ恒温動物です。		3 哺乳類	☐
13	両生類 は、幼生期はえら呼吸、成体になると肺呼吸と皮膚呼吸の両方を行うという特徴を持つ生物です。		1 両生類	☐
14	変温動物 とは、体温を一定に維持する能力が低く、周囲の気温や水温によって体温が変動する動物です。		4 変温動物	☐
15	仮根 は、コケ植物の体の下部から伸びる細い糸のような組織です。		3 仮根	☐
16	主根 は、種子から出た幼根がそのまま太く成長したものです。		4 主根	☐

言えなかった用語ノート